

1. 授業科目と単位：

メディア空間認知論 (○)講義 ()演習 ()実習 2単位

2. 履修対象者：

(○)D1, (○) D2, (○)D3, (○)D4, ()D5: ()文化科学研究科, ()総研大の全研究科, その他 ()

3. 授業担当教員：近藤智嗣

担当教員との連絡 (e-mail、電話、FAX、研究室)：

e-mail : tkondo@nime. ac. jp

TEL : 043-298-3412

FAX : 043-298-3487

研究室：メディア教育開発センター研究棟 605 号室

4. 授業実施期日時間：

毎週木曜日 15:00-16:30

5. 授業実施場所：

メディア教育開発センター研究棟 6 階、617 号室

Web サイト： <http://tkondo.nime.jp/nc/>

6. 履修条件、受講方法：

特になし.

7. 授業内容の概要：

メディア空間認知論におけるメディア空間とは、ビデオやコンピュータグラフィックスなどのメディアによって人工的に作り出された空間のことである。授業では、まず、基礎知識として映像、3次元コンピュータグラフィックス、バーチャルリアリティ、ミクストリアリティのメディア技術について解説する。次に、このメディア空間における学習者の行動を実証的に分析するための操作履歴の記録方法について解説する。

8. 授業の達成目標：

1. 空間を表現するためのメディア特性について理解し、自分で制作できるスキルを身につける。
2. バーチャルリアリティやミクストリアリティの概念を理解する。
3. メディア空間認知の実証的な研究方法を理解する。

9. 授業計画：

- (1) モンタージュ理論
- (2) 映像撮影・編集技法
- (3) 映像メディアによる空間表現 1 (撮影)
- (4) 映像メディアによる空間表現 2 (編集)
- (5) 映像メディア史
- (6) デジタルカメラによる空間表現
- (7) 立体視システム

- (8) バーチャルリアリティによる空間
- (9) ミクストリアリティによる空間
- (10) 3DCGによる空間表現1 (モデリング, 質感設定)
- (11) 3DCGによる空間表現2 (アニメーション, レンダリング)
- (12) ミクストリアリティによる空間表現
- (13) Web3Dによる空間表現
- (14) 空間認知研究概観
- (15) メディア空間認知研究法

10. 使用参考書、参考文献：

資料と参考文献一覧はWebサイトに掲載されている。

11. 単位取得要件と成績評価基準：

上記の授業の達成目標に関するレポートを提出した受講者のうち、合格と判定されたものに単位を認定する。

12. その他のコメント

特になし。